

下関リハビリテーション病院 季刊誌

オレンジ

地域に寄り添い、地域と共に
Shimonoseki Rehabilitation Hospital



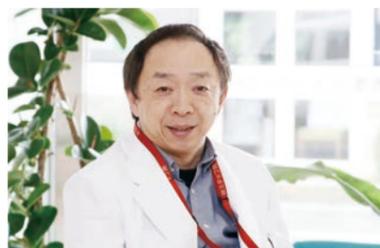
秋の風景

基本理念 手には技術、頭には知識、患者様には愛を

CONTENTS

- | | | | |
|----|-------------------------|----|-------------------|
| 2P | パーキンソン病に特化したリハビリ | 6P | 新型コロナウイルスと感染対策 |
| 4P | いきいき健康館での取り組み | 7P | PHSからiPhoneへ |
| 5P | シルバーウィーク限定面会
敬老の日の食事 | | 令和健康科学大学オープンキャンパス |
| | | 8P | 医療連携室より |

パーキンソン病に特化したリハビリテーション



副院長 小川 浩一
(専門分野：脳神経外科・脊髄脊椎外科)

パーキンソン病に特化したリハビリテーションプログラム「LSVT-BIG (Lee Silverman Voice Treatment)」は、約4週間のプログラムを集中的に繰り返し行うことによって、新しい動作の獲得を目指します。

さらに、この病気に対して「受け身」であった従来の考え方が、自分の力で改善できるんだという「能動的、主体的」で前向きな考え方に変わってくるため、明らかに朗らかで明るくなると言った効果も見逃せません。

パーキンソン病とは

「手足の動かしにくさ」「ふるえ」「関節のこわばり」「動作緩慢」などの症状を示す進行性の神経難病です。日本では60歳以上の100人に1人が罹患していると言われています。

この病気にかかると「足が前に出ず歩きにくい」「転びやすい」「気分が晴れず、やる気や興味が出ない」など日常生活に支障が出てまいります。進行性の難病ですが薬物療法と運動療法でかなりの改善ができる病気でもあります。

運動療法はどんなことするの？

当院ではパーキンソン病に特化したリハビリテーション (LSVT-BIG) を行っています。認定資格を持った6人のスタッフが個別に対応いたします。

◆認定療法士◆

私たちが対応いたします。



まずは初期評価を1週間、運動療法は4週間そして最終評価を1週間行います。運動療法中の4週間はスタッフが必ず個別で60分(1週間の内、4日連続)の専門リハビリテーションを行います。



※入院期間は6~8週間を予定しています。

脳の認識を変えよう！

パーキンソン病では無意識下で出現する「手足の動かしにくさ」や「ふるえ」「関節のこわばり」「動作緩慢」などによって運動機能障害が起きます。この無意識下で脳が正常と認識してしまった運動機能障害を、意識的に「大きな動作」に修正することで脳の認識を変えていくのです。



LSVT-BIG 認定療法士
遠山 明之介

詳しいリハビリテーション風景と効果はこちらのQRコードから動画をご覧ください。

LSVT-BIG 動画



下のグラフは当院のLSVT-BIG実施後の実績です。値が低いほど症状が改善されたこととなります。



特に身体機能に改善がみられました！



歩行速度も改善！

このように当院でLSVT-BIGを受けていただいた患者様は統計学的にも有意に改善がみられています。上記の他にも精神機能、合併症、バランス能力などすべての項目でも同様の結果となっています。

パーキンソン病の評価について (ヤールの重症度分類とUPDRS)

ヤールの重症度分類とは身体に現れる症状や日常生活動作の不自由さを元にI~V度の段階で分ける非常にわかりやすい指標です。

当院のLSVT-BIGを受けていただいた患者様の多くはヤールの重症度分類Ⅲ度~Ⅳ度の方です。

- I度 症状は片方の手足のみ
- II度 症状が両方の手足に
- III度 姿勢反射障害
 - 身体が勝手に傾く
 - 歩き出したら止まらなくなってくる
 - 転びやすくなった
- IV度 歩行はなんとかできるが入浴やトイレなど介助が必要になる
- V度 立つこともできない。日常生活全般に介助が必要

UPDRS (Unified Parkinson's Disease Rating Scale) とはパーキンソン病の統一された評価基準であり4つのパートからなります。身体機能だけではなく精神面や合併症の評価もあるためヤールの重症度分類よりも詳細な評価ができます。また、点数が低いほどパーキンソン病の症状が軽度という事になります。

- パート1 精神機能と行動、気分
- パート2 日常生活動作
- パート3 運動試験
- パート4 治療の合併症

いきいき健康館での取り組み

いきいきファーム

通所リハビリテーションに通われる方の中には、花や野菜作りが好きな方が多くいらっしゃいます。好きな分野で、身体能力向上・脳活性・社会参加への支援に繋がりたいという目的で「いきいきファーム」と名付けた園芸活動を取り入れました。この夏、利用者様が中心となり、育てたトマトやピーマンを見事収穫することができました。

リハビリテーション科
理学療法室 主任 白石 智美



いきいき健康館では現在、通所リハビリテーションと介護予防・日常生活支援総合事業を行っています。通所リハビリテーションでは、必要に応じて利用者様の目標に沿った個々のリハビリプログラムを提供しています。その一つに「いきいきファーム」があります。

- ・花や野菜作りに携わり、趣味活動の促進。
- ・野菜の収穫や水やり等で応用動作に繋げる。

いきいきファーム

参加者に感想を伺いました



飯山 昭美 様

いきいきファームへ参加のきっかけを教えてください。

手先のリハビリを一通り終え、他に何かないかということで白石先生から提案していただきました。野菜作りは楽しく、杖を忘れるほど夢中になりました。



ご自宅でも何か育てられていますか？

高齢者住宅に住んでいて、避難経路の問題がありベランダ園芸ができなくなりました。なのでここで取り入れてもらって励みになっています。

今後の目標やチャレンジしたいことはありますか？

バスに乗って、一番後ろの席に座り、景色を楽しみながら市内循環がしたいです。



秋のいきいきファーム

プランターのコスモスが咲きました！



シルバーウィーク限定面会を実施しました



面会場所は、当院1階に間仕切りスペースを設置し、1組ずつその中で面会を実施します。



避難所などで使用する間仕切りスペース

さらに、対面する間に仕切り板を配置し、感染防止対策を強化します。



仕切り板 →

今回、シルバーウィークに十分な感染対策を講じた上で、アクリル板越しではございますがシルバーウィーク期間限定面会を開催致しました。下関在住の方のみで2週間の検温記録を提出してもらい3日間(9月19日、20日、26日)で19名の面会を致しました。

患者様、ご家族様からは「直接会えて安心した」、「孫の顔を見ることが出来て良かった」等のご意見をいただきました。

11月16日より制限付面会開始します。対象は入院患者様の二親等以内で山口県在住、福岡県在住の方に限ります。

今後は感染状況次第では通常面会を再開する可能性もあります。これからも通常面会の再開が出来るよう、感染対策を十分に講じて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

副院長 兼 事務長
石田 憲司



当院では昨年7月27日より面会禁止で患者様、ご家族様には大変ご迷惑をお掛けしております。

感染対策をしている結果当院では職員、入院患者様のコロナ発生0名(10月12日現在)を継続しております。



敬老の日

9月20日

行事食紹介

- ◎牛ヒレステーキ
- ◎とろろ
- ◎すまし汁
- ◎フルーツポンチ

「病院でステーキが食べられると思わなかった」「肉が柔らかくて食べやすかった」など喜びの声を頂きました。



季節ごとに行事食を提供させていただいております。

管理栄養士 主任
柏葉 千春



新型コロナウイルスと感染対策



感染対策委員長
2階病棟 看護師 主任 草宮 千春

基本的な感染対策を確実にいき、継続していくことで感染症の発症を防止することに繋がります。

新型コロナウイルス (SARS-CoV2) は、コロナウイルスの一つです。コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや、『重症急性呼吸器症候群 (SARS)』や『中東呼吸器症候群 (MERS)』ウイルスが含まれます。コロナウイルスは脂質膜でできているエンベロープで覆われており、自分自身で増えることはできませんが、粘膜などの細胞に付着して入り込んで増えることができます。

SARS-CoV2 の主な感染経路は、咳やくしゃみ、会話時などの飛沫が飛散して感染する飛沫感染と、

飛沫が付着した物を手で触れることにより、手の表面

に付着したウイルスから感染する接触感染が要因となります。SARS-CoV2 は、皮膚の表面で約9時間生存し、インフルエンザウイルスの5倍ほどの長さ及びぶことが報告されています。エンベロープの脂質膜は、アルコールで

ウイルスの膜を壊すことで無毒化します。70%以上の消毒用アルコール、0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウムが推奨されています。手指消毒や手洗いが重要になるのはこのためです。



人は無意識のうちに1時間に平均23回顔や髪に触れていると報告があります。ウイルスが付着している可能性がある手で顔を触れると、特に目や鼻、口の粘膜にウイルスが付着することで、感染リスクが高まります。このほか、ウイルスが付着している可能性が高いマスク表面を、手で触ることでウイルスが手に付着します。布上では、SARS-CoV2 は室温30度で3日間も生存すると言われております。環境に付着したSARS-CoV2 は、数時間～数日間は感染力を失わずに環境に存在していることが報告されています。

SARS-CoV2 は、発症の2日前から発症後7～10日間程度他者へ感染させる可能性があります。特に、発症の直前、直後でウイルス排出量が高くなるため、無症状病原体保有者からも感染する可能

性があります。無症状病原体保有者からの飛沫を軽減させるには、マスク着用が必要となります。マスクの素材や、人と人の距離間等によってマスクの効果には違いがありますが、一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ちます。次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があります。自分の顔にしっかりフィットしているマスクを着用することが重要です。マスクは、相手のウイルス吸入量を減少させる効果より、自分からのウイルス拡散を防ぐ効果がより高くなります。特に室内で会話をする場合は、マスクを正しく着用する必要があります。また、屋外ならマスクは不要ということではありません。感染防止に必要な最低1メートルの間隔を確保できない場合は、マスクの着用は重要です。

感染症が発生すれば、基本的な感染予防対策以上に膨大な時間を費やします。1人でも面倒、誰かがやってくれるといった意識では、いつ感染症が発症してもおかしくはありません。基本的な感染対策を確実にいき、継続していくことで感染症の発症を防止することに繋がります。



PHS から iPhone へ変更しました

2021年8月よりPHSからiPhoneへ変更致しました。ICT (情報通信技術) を活用し電子カルテの記載、閲覧出来るようになりました。

120台導入し病院外でもカルテ記載、閲覧も出来ます。また個人情報流出を防ぐためにセキュリティーも厳重に行っております。働き方改革の一環でもあり、ICT、DXを活用することで、スタッフが患者様と接する時間を、より一層保てることにも繋がります。

メリットとして

- ▶カルテを手元で閲覧・入力ができるようになった
- ▶カルテ確認するためにパソコン行く手間も省ける
- ▶院外以外でもカルテ記載が可能 (院内以外はオーダーは不可)
- ▶夜間については電子カルテのカーポートも必要なく静かに移動することも出来る。
- ▶外出先でも内線・外線の転送が可能
- ▶計温・臨床検査データ・オーダ参照も閲覧可能
- ▶褥瘡患者等の写真を直接カルテに貼り付けできる
- ▶実施入力安全確認 (三点認証) も可能
- ▶個人携帯のiPhone 保有も操作方法に慣れている
- ▶Zoom・FaceTime などオンライン会議も可能 等々



今後は音声入力、チャットなどを利用し、更なる働き方改革を目指して行きます。

患者様、ご家族様等にご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、よろしくお願い致します。

副院長 兼 事務長
石田 憲司



健康な未来を

令和健康科学大学

2022年4月 福岡キャンパス **開学**



←ホームページへ

<p>看護学科 80名 (定員数)</p> <p>看護師国家試験受験資格</p> <p>看護学部</p>	<p>理学療法学科 80名 (定員数)</p> <p>理学療法士国家試験受験資格</p> <p>リハビリテーション学部</p>	<p>作業療法学科 60名 (定員数)</p> <p>作業療法士国家試験受験資格</p> <p>リハビリテーション学部</p>
---	--	--

OPEN CAMPUS 2021 11/21 (日)

第一部 10:30~13:00
第二部 14:00~16:30
※一部バス送迎有

〒811-0213 福岡市東区和白丘2丁目1番12号 入試・広報専用 TEL 0800-888-0053 HP: <https://www.reiwahs-u.jp/>



医療連携室より

医療ソーシャルワーカー
主任 上野 純子



今回は、私たち医療ソーシャルワーカーが患者家族と面接させていただく様子についてご紹介させていただきます。

患者家族に沿った臨機応変な対応をさせていただきます。

患者家族お互いが意思確認、お気持ちを話していただくことができました。

対面しています！

当院は、新型コロナウイルス

感染症が終息していない中、引き続き面会制限を継続させていただいています。

家族や外部関係者の来院時には、受付時の検温・アルコール消毒、マスク着用のご協力をお願いしています。スタッフも毎日検温などの体調チェック、マスク

患者家族とMSWが面談



入院前面談



オンラインの取り組み

着用、必要時に応じてゴーグル着用をして接触には細心の心配りを図っています。医療ソーシャルワーカーも患者・家族と面接を行う際、テーブルに設置している飛沫防止シート越しに対面しながら接触に注意を払っています。

退院に向けて外部関係者と連携を行う際は、オンラインを利用

してケアマネジャーなどへ面談の同席や退院前カンファレンスの実施などご協力をお願いしています。接触は必要最低限に抑えるように工夫し、安心して退院後の生活が送れるように関わらせていただいています。緊急事態宣言が発出した地域でお暮らしの家族は来院していただくことを遠慮いただいています。患者は病気やケガに罹患し介護が必要な状態の中で病室内に引きこもりがちになることで内向的になる傾向がみられます。家族と直接会えないこと

私たちのモットー!!

今後も患者家族の思いを寄り添ってお聞き、入院生活の不安を取り除くなど少しでも安心して入院生活を送っていただけるよう医療連携室一丸となって取り組んで参ります。

医療ソーシャルワーカー
北村 恭平



で入院中のストレスや不安を抱え込んでしまっていますが、家族の顔を見ながら話をする事で気持ちの安定にもなり退院支援に繋ぐことが出来ました。遠方に住んでいらっしゃる家族やお仕事で忙しい来院が難しい家族ともオンラインを活用すれば簡単に面談等を行なうことが出来るのもメリットの一つだと感じました。



上記以外のことで何かお困りごとやご心配なことがございましたら、お気軽にMSWまでご相談下さい。

相談受付

TEL : 083-232-5811 月曜日～土曜日(日曜・祝祭日のぞ) 9:00～17:00
メールでのご相談 : renkei@shimoreha.jp

表紙の写真📷 旅行の際に紅葉を見つけたので撮影しました。お気に入りの一枚です。

一般社団法人 巨樹の会
下関リハビリテーション病院

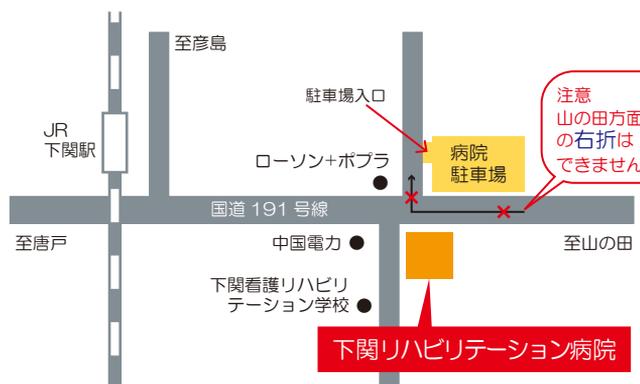
〒750-0064 山口県下関市今浦町9番6号
TEL:083-232-5811 FAX:083-232-0219
URL:https://www.shimoreha.jp
Mail:info@shimoreha.jp

アクセス方法

- JR 下関駅より徒歩5分
- サンデン交通竹崎バス停より徒歩1分



日本医療機能評価機構
認定第 JC2314 号



注意
山の田方面からの右折はできません。

下関リハビリテーション病院